

69 期生

3年生学年だより

豊中市立第五中学校 2022年12月20日(火) No.30

さかい しげもと き と がくしゅう 酒井さん、重本さんの聴き取り学習がありました。

14日(水)の5・6限に、とよなか人権文化
まちづくり協会の酒井さん、重本さんをお招き
し、五中校区でご自身が経験されたことやみなさん
への夢バトンとなるお話をしていただきました。
「友達がつらいときは側でよりそえるような
心を持ってほしい」「自分で見て感じたことを信
じてほしい」など、たくさんのメッセージをいた
だきました。五中の先輩方からの大切なメッセ
ージや思いを胸に、卒業後も五中生だったことを
『誇り』に夢バトンをにぎって進んでいきましょ
う。



みんなの感想より (一部抜粋)

★部落差別について、お話を聞くまではあまり知らなかったのですが、今回のお話を聞いて部落差別をしてはいけないことや、くわしく知らないのに人の話に流されて差別をしてしまうことは絶対にあってはならないことだと思いました。部落差別だけではなく他のことでの差別も絶対にしてはいけないと改めて思いました。

★身近に差別を受けている人たちがいるんだと知り、差別について知った気になっていただけ、より身近な話に感じ、私自身が差別しないよう、改めて思うことができました。出身地などで差別される意味が本当にわからなくて、差別をする人が自分のしていることがどれだけ人を傷つけているのか理解してほしいです。差別を受けている人が、本当のことを言えなかったりする状況が本当に嫌だと思いました。



★今回の話を聞いて、自分が思った以上に差別はひどいもので今でもそんなことがあるのに驚きました。もし自分が差別されるような状況だったら人のことを信じられなかったらうし、毎日不安で仕方なかったと思います。今の状況が少しでも良くなるように、もっと部落のことを知って、周りに伝えられるようにしたいです。

★部落差別という言葉自体は知っていたけど、話を聞く前まではそんなひどいものじゃないと思っていました。でも話を聞いてからは考え方が変わりました。元々は差別はよくないもの程度で考えていましたが、話を聞いてからは人生さえも変えてしまう差別は絶対にしてはいけないと思いました。

★私は、話を聞いているときに、「差別は、してはいけない事だと分かっているのに、どうしてする人がいるのだろう」と考えていました。その時に思ったことは、「正しい情報を知らないから差別をしてしまう人がいる」ということでした。出身地や住んでる所で差別を受けていることを知って、許してはいけないと思いました。

★もしも自分の周りの人が差別を受けていたら、そのことについて自分で調べて理解したいし、寄り添える人になりたいです。部落差別に関わらず、いじめなどをしている人の気持ちが分からないと思いました。

★あらゆる差別を受けている人たちが自分らしく生きられるように、情報を正しく理解したり、差別的な発言をしないように日頃から心がけたいと思いました。学校で自分らしく生きられない人が少しでも自分らしく生きられるようになってほしいし、私がそんなことされたら嫌なので、周りの人に流されないようにしたいです。友達がしんどい時に力になれるような人になりたいと思いました。

★これから沢山の人の人と出会っていくと思うので、どこの生まれであるとかではなく、その人自身をみていこうと思いました。「どんな風に感じている人がいるのか」という事を考えながら生活していこうと考えました。

